

岡山商科大学孔子学院受講生と中国人留学生による端午節交流会

2021年6月13日、我校日本岡山商科大学孔子学院学员，以及岡山商科大学附属高中留学生一起度过了中国传统节日—端午节。由于疫情的原因，孔子学院充分考虑到大家的安全和活动效果，决定用线上线下同时进行的方式迎接端午节。学院的老师们还提前为线上参加的学员准备好了端午节的节日礼包，里面包括了粽子叶，糯米，大枣花生，还有五彩绳等等。

2021年6月13日、岡山商科大学孔子学院受講生及び岡山商科大学附属高校中国人留学生による端午節交流会が孔子学院の5階ホールで開催されました。コロナ禍の中、皆様の安全と交流会の効果をも十分考慮した上でオンラインと現場で同時に実施することになりました。そこで、前もって受講生に端午節キットを配布し、粽の素材をはじめ、レシピや端午節五色糸なども用意させていただきました。



线上参加交流会人员主要以孔子学院学员为主，线下参与活动的人员包括岡山商科大学附属高中的中国留学生与领队老师，以及孔子学院同窗会会长兼孔子学院第一届学员室贺康史先生、岡山商科大学同窗会副会长赤田博文先生，孔子学院相关工作人员等。会场充满了节日的氛围，粽子的香气扑鼻而来。

当交流会に、オンラインでは受講生の皆様が。また、現場では附属高校の中国人留学生と引率教員のほか、孔子学院同窓会室賀康史会長（孔子学院1期生）、岡山商科大学同窓会赤田博文副会長（孔子学院3期生）、ならびに孔子学院スタッフらが参加しました。

首先，安井聪事务局长代表孔子学院向参加交流会的所有人员表示感谢，也简单介绍了端午节活动安排，接下来由日方院长黎晓妮致辞。黎院长在致辞中指出，由于2020年以来日本疫情反复无常，很多活动被迫取消，在这种艰难的环境下，由于大家的大力协助，终于举办了本次端午节活动。她还强调，希望通过本次活动不仅能够传递更多的中国传统文化，更祈愿能通过这种活动为大家带来更多的快乐因素，共同战胜疫情，迎接更加美好的未来。

当交流会は、孔子学院安井聡事務局長の司会によって開会いたしました。安井事務局長は孔子学院を代表し参加者皆様に感謝の意を述べ、簡単に当日のスケジュールなどを紹介しました。次に、孔子学院黎曉妮学院長による挨拶がありました。黎学院長は、昨年以来コロナの影響でイベントがなかなか開催できず、皆様にも十分な配慮が届かなかったことに関して遺憾の意を述べ、皆様のご支援とご協力の中、少しでも心の癒しになれたらという思いから、今回の交流会を開催することになった旨を伝えました。最後に、コロナが一日も早く収束でき、孔子学院の授業をはじめ、各イベントが順次で開催されることによって、皆様のために何かお役に立てればと願いました。



現場の参加者



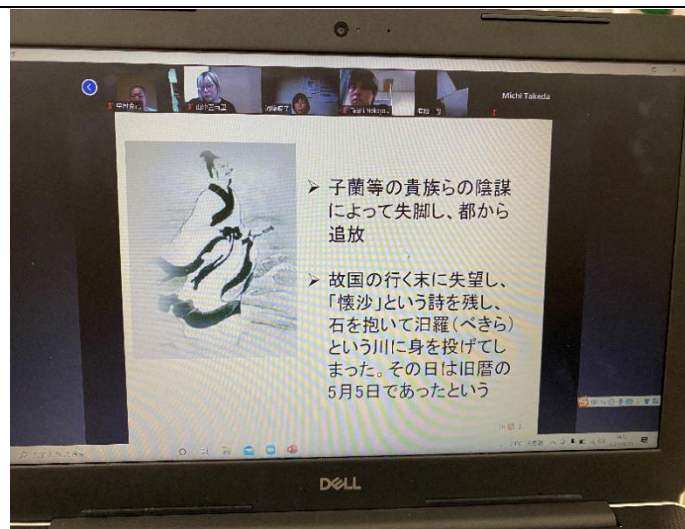
黎曉妮学院長による挨拶

紧接着，日方副院长韩云冬通过 PPT 为线上参与活动的孔子学院学员，以及在场的所有人员详细介绍了端午节的由来、习俗、各地举行的端午活动以及端午美食等等。在讲解五彩绳的时候，孔子学院工作人员也在现场给大家系上了提前为大家编制好的五彩绳，并祝愿大家端午安康，战胜疫情，平安喜乐。

続きまして、孔子学院韓雲冬副院长より端午節の由来や習わしなどについて、パワーポイントを用いてオンライン参加者と現場の皆様詳しく紹介しました。端午節と屈原の関わりや粽の種類、そして五色糸などについての内容でしたが、現場の皆様もみんな事前に用意した五色糸を手首につけ、端午節の雰囲気ますます漂ってきました。



現場讲解画面



在线讲解画面

端午節の紹介之后、活動也慢慢达到了高潮，线上的学员和现场的人员一起开始包起了端午传统美食—粽子。日方院长黎晓妮在镜头前详细介绍并耐心讲解如何包粽子，无论是现场参加人员，还是线上的学员们都非常积极并认真的包起了属于自己的那份粽子。大家通过提前收到的端午礼包及礼包中准备的说明，早已准备好了糯米等素材，包起来也特别顺利，氛围十分热闹。

いよいよ粽体験の番になりました。オンラインと対面で同時に作れるだろうかと、ずいぶん心配しましたが、本当に参加者の皆様の熱心さと中国文化への興味、そして積極的なご協力のもとに、思ったよりも順調に、楽しく手作りの粽を思い存分に披露してもらいました。特に、オンラインの参加者の皆様はご自宅の台所にカメラを向けてもらい、今までの対面イベントとは異なった斬新な交流ができたと思いました。



黎晓妮学院長による粽づくりの説明



オンラインで披露中の受講生の皆様

趁大家一起煮粽子的时间，本次活动也进入了下一个环节—交流会。首先，中方公派教师朴慧淑为大家准备了关于端午节以及中国文化的智力题。线上线下的人员共同参与，积极抢答，不仅让大家了解了中国文化，也为本次活动增添了更多的娱乐色彩。其次，孔子学院学员一一交流了自己的学习汉语历程与心得，中国留学生们也分享了来冈山之后的生活以及日语学习方法等等，大家也彼此通过提问的方式，交流了在学习外语以及国外生活中的一些问题。

粽づくりが終わり、茹でる間に、交流会も次の順に移りました。孔子学院中国語講師—朴慧淑先生によるクイズ挑戦及び日本人受講生と中国人留学生の交流会でした。クイズでは合計10問、そのうち端午節に関する内容が4問、中国文化や孔子学院に関する内容が6問でしたが、参加者の皆様は積極的に手を挙げ、競うように正解を述べてくださいました。現場では、中国人留学生もずいぶん悩む問題もあり、お互いにいい勉強になったと思いました。続いて、日本人受講生の中国語による自己紹介や中国語学習の経歴。また、中国人留学生の日本語による自己紹介や日本文化や岡山への感想などを述べつつ、お互いに語学学習におけるノウハウや今後の夢などについて、いろいろな意見を交わしました。



朴慧淑講師の司会によるクイズ挑戦



受講生と留学生によるオンライン交流会

最后，大家都晒一晒自己亲手做出来的粽子，边品尝边交流，本次活动也慢慢进入了尾声。虽然，由于疫情的限制学员们不能来到现场参加活动，但大家对中国文化的热情，以及对孔子学院活动的支持和配合一如既往。我们岡山商科大学孔子学院今后也会继续为大家做好力所能及的事，虽然有疫情，但大家对中国语言以及文化的热情依旧，同时也愿疫情早日结束，岡山孔子学院也会为大家准备更多多姿多彩的活动，类似活动不仅能促进中日文化交流，也能为学员的汉语学习提供更多的交流平台。

最後に、皆様がそれぞれ自分の作った粽を披露していただき、試食しながら当交流会も幕を閉じました。コロナがなかなか収束されず、対面でのイベントもずいぶん難しい状況のなかで、このようにハイブリット形式で少しでもお役に立てることができ、開催側としても大変ありがたく存じました。今後も引き続き、中国語や中国文化のみならず、日中友好交流ができる場を設け、より楽しいコミュニケーションができるよう、岡山商科大学孔子学院はできるかぎりのことを尽くしていきます。



現場の参加者記念撮影



オンライン参加者(一部)記念撮影

文：朴慧淑